



地 整 第 209 号
平成 19 年 5 月 8 日

国土交通省道路局長 様

湯沢町長 上 村 清 隆



中期的な計画の作成にあたっての意見について（回答）

平成 19 年 4 月 2 日付け、国道企第 114 号でご依頼のありました標記について、下記により回答いたします。

記

1. 今後の道路政策や道路の整備・管理について

・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

新しい道路政策のポイントにおいて、地域の自立と競争力強化（地域の基幹道路の整備を推進）と、高齢化する道路構造物を戦略的に管理することで、既存ストックの長寿命化を図るとありますが、新潟県と関東圏を結ぶ唯一の幹線道路の国道 17 号のトンネル（三国、芝原、二居）は、昭和 37 年に竣工したもので、いずれも老朽化が進み、湧水防止の被覆工事により幅員が狭小となって大型車両の対面通行が危険な状況となっており、補修工事による長寿命対策では限界に来ています。地方における道路整備は都市部と比較してまだまだ遅れており、とりわけ当地域の基幹道路の整備は観光面を含めた地域の活性化と自立を図るために優先度の高い政策のひとつと考えます。

・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

事業の実施にあたっては、過大設計の防止、無駄の排除、維持管理のしやすさなどの視点から、県、関係市町村及び住民の意見を集約し、有効的な施工が図られるようなシステムの構築が必要と考えます。